



かほく ワークシート

- ① 及川拓海さんは災害への備えとしてどのようなことが必要と考えていますか。
- ② 木下巧大さんは会員制交流サイト(SNS)を使っ

た防災に関するアンケートを分析して、どのようなことを知りましたか。

(小学校高学年、中学生、高校生／朝の会、防災教育)

災害対策に高校生の視点



県防災指導員の認定書を手にする木下さん(左)と及川さん

及川さんと木下さん

2人は1月、県の防災ジュニアリーダー養成研修会に参加。県内外の高校生と交流して考えに磨かれたことで、世代を問わず地域の防災力向上に貢献する必要性を感じた。

防災指導員の認定は3月に受けた。防災ジュニアリーダー養成研修会に参加したため、指導員の養成講習は免除されたが、講習の教

「訓練考えたい」「行動起こしたい」

「学校の防災訓練の在り方を先生たちと一緒に考えたい」と及川さん。木下さんは「防災指導員が他校にも広がれば、地域の防災力は高まる。自分たちができる行動を起こしたい」と意気込む。

「学校の防災訓練の在り方を先生たちと一緒に考えたい」と及川さん。木下さんは「防災指導員が他校にも広がれば、地域の防災力は高まる。自分たちができる行動を起こしたい」と意気込む。

県防災指導員

志津川高生2人認定

南三陸町の志津川高3年及川拓海さん(18)と2年木下巧大さん(16)が、県の防災指導員に高校生で初めて認定された。津波が町を襲った東日本大震災の経験も踏まえ、被災地の学校から防災活動の重要性を発信する。

(2020年6月9日朝刊)

出題者から

東日本大震災から約10年になりますが、震災の経験を生かして災害への対策

をしていくことが大切です。及川さんも木下さんも被災経験を教訓に、防災の課題をそれぞれ意識していることは素晴らしいです

ね。皆さんもぜひ、防災について考えてみましょう。
(日本新聞協会NIEアドバイザー・県図書館主幹 坂本謙)



25日の
答えだよ

①及^{おい}川^{かわ}拓^{たく}海^みさんは災^{さい}害^{がい}への備^{そな}え
としてどのようなことが必要^{ひつよう}と
考^{かんが}えていますか。

（避^ひ難^{なん}所^{じょ}は子^こどもから高^{こう}齢^{れい}者^{しゃ}ま
で集^{あつ}まるので、さまざまな世^せ代^{だい}
が参^{さん}加^かする形^{かたち}の運^{うん}営^{えい}訓^{くん}練^{れん}をする
こと）

②木^{きの}下^{した}巧^{こう}大^{だい}さんは会^{かい}員^{いん}制^{せい}交^{こう}流^{りゅう}サ
イト（SNS）を使^{つか}った防^{ぼう}災^{さい}に
関^{かん}するア^{ふん}ン^{せき}ケ^しート^しを分^{ぶん}析^{せき}して、
どのようなことを知^しりました
か。

（家^か庭^{てい}の食^{しょく}料^{りょう}備^び蓄^{ちく}が進^{すす}んでいな
いこと）